

電子請求書システム導入と請求書業務効率化

所管 医療関連部門

所属 (株)ワイズファイナンス

発表者 寺田 章吾

法令対応

インボイス制度（2023年10月）

電子帳簿保存法の改正（2024年1月）

▶ **適格請求書様式で統一**

▶ **電子取引時のデータ保存が義務化**

承認経路の見える化

請求書の「所在」と「承認」の進捗が不明瞭



請求書の枚数（業務時間）

毎月およそ2,000件（洛和会・洛和福祉会）

請求書にかかる業務時間割合は全体の25%となっている

▶ ワイズ業務負担

メール便配送カレンダーの影響

配送カレンダー（長期連休・お盆・正月）によって、現場へPDF送付を依頼

▶ 現場業務負担

紛失の恐れ

請求書の所在の把握ができない

▶ 請求書紛失のリスクが大きい

オンライン説明会の実施

- ✓ 事前アナウンス
- ✓ 約1時間の説明会
- ✓ 約50名の担当職員が参加



システム運用開始（6月～）

社内理解が深まり、スムーズに運用を開始できた



01

電子化



【8月時点での電子化率】
当会受取請求書 59.2%

02

コスト削減



ペーパレス化によりファイリング、郵送業務削減が見込める

03

検索性の向上



請求内容がデータ上で閲覧可能となり、現場からも閲覧可能となった

04

承認催促機能



承認経路の「見える化」で承認遅滞者への催促がシステム上で容易となった

請求書宛名を部署別で発行

費用負担部署の**明確化**

メモの活用

按分後費用負担部署の**共有化**

WF⇔現場 **問い合わせ数削減**が期待

関連会社 BtoB 導入



シンザイ、ウエルネット、トランスポート、アローフィールド、ミテラ
以上の関連会社も、発行機能活用を視野に導入を進めています。

I N V O X (AI-OCRシステム) 導入



AI-OCRとはAI（人工知能）技術を取り入れた光学文字認識機能（OCR）のことです。「発行の手間が増える」という問題を、AIが請け負うことで、請求書の紙形式から電子形式へ変換する作業が自動化されます。

会計連携

外部会計ソフトと連携させることが可能。

請求書から仕訳情報をダウンロードし、伝票作成の取込みから振込みまで行うことで、業務効率化となる



支払い遅延が発生すると、サービスの提供に遅れが生じる可能性があります。

請求書業務の改善は、**洛和会全体のサービス品質向上**につながると考えています。

電子化率100%を目指し、安定的なサービスの提供することが重要です。

この目標は、**洛和会全体で達成すべき課題**と考えています。